

広

報

あつま

2007

1

No. 653

いのち満ちる 農(みのり)の里あつま 大いなる田園の町

謹賀新年
今年も頑張ろう！



あいさつ

第3次厚真町総合計画の 実現、推進を目指して

厚真町長
藤原正幸

町民の皆さま、あけましておめでとう
ございます。
平成19年の輝かしい新春をご健勝で迎
えられたことを、心からお慶び申し上げ
ます。

平成18年を顧みますと、いじめが原因
と思われる児童生徒の自殺、幼児への虐
待と暗いニュースに明け暮れたなか、皇
室におかれましては41年ぶりの男子、秋
篠宮悠仁親王がお生まれになったこと
に、あらためてお慶びを申し上げます。

経済の面では法人税の増収など、いざ
なぎ景気を上回る好景気と報道されてお
りますが、北海道経済は完全な回復基調
にはなく未だ負の時代を脱しきれていな
いものと感じております。

しかし、スポーツの分野においては、
甲子園3連覇を目指した苫小牧駒澤高校
が決勝戦再試合のすえの準優勝、また北
海道に移転して3年目の日本ハム球団が
日本一になったことは、地元に関連企業
が立地する本町も含め全道民がその優勝
に歓喜したところであります。基幹産業
の農業は、8月の好天により春の遅れも
取り戻し、昨年にひきつづき豊穰の秋を
迎えられたことに、心からお慶び申し上
げます。

町域では国・道の大規模事業である勇払
東部地区国営農業用水再編対策事業・厚
幌ダム建設・厚真川河川改修・道営農場
整備などが順調に進められております。

平成17年度までの10年間をスパンとし
た「交流をさそう、緑とゆとりにあふれ
た大いなる田園の町」をメインテーマと
した「厚真町新総合計画」も終了し、住
環境の整備、福祉関係の整備、市街地の
再開発、下水道の供用開始、道路の整備
などの目標が達成されたものと確信して
おります。

いま地方自治体をとりまく経済情勢、
社会情勢は高度情報化、高度技術革新、
グローバル化の進展など時々刻々変化し
ております。その趨勢を的確に捉え、地
方自治を推進すべく、平成18年度からの
10年を期間とする「いのち満ちる 農（み
のり）の里あつま 大いなる田園の町」
をテーマとした第3次厚真町総合計画を
スタートさせたところであります。

自立を宣言した本町の前途は、社会、
経済情勢が激しく変化している昨今を考
えますと、多難な行財政運営を強いられ
るものと思われまます。しかし町民各位の
協力による協働のまちづくり、つまり行
政と住民が一体となり計画の実現、推進
に全力で邁進してまいりたいと考えてお
ります。

結びになりますが、本年も町民各位の
ご協力とご支援を賜りますようお願い申
し上げますとともに、町民皆さまのご健
勝とご多幸をお祈り申し上げ、平成19年
の年頭にあたってのごあいさつといたし
ます。

年頭のご

生きる力に満ちあふれた 「ふるさとあつま」の創造を目指し

厚真町議会議長

河村 忠 治

町民の皆さま、明けましておめでとう
ございます。

希望に満ちた輝かしい新春を、健やか
にお迎えのことと心からお慶び申し上
げ、あわせて日ごろからの議会に対する
温かいご支援とご協力に對しまして、深
く感謝を申し上げます。

さて昨年を顧みますと、一年の世相を
象徴する「今年の漢字」に「命」が選ば
れましたが、秋篠宮家の長男悠仁さまの
誕生という一方で、いじめ自殺や虐待、
飲酒運転事故、竜巻災害など痛ましい事
故が相次ぎ、一つしかない命の重み、大
切さを痛感した一年であったように思っ
ます。

本町におきましては、基幹産業の農業
に明るい話題が二つありました。一つは
3年連続の豊作であります。春先には、
低温と日照不足による生育の遅れが心配
されましたが、その後6月下旬からの好
天と生産者の栽培努力によって、農作物
全般にわたって豊穰の秋を迎えることが
できました。もう一つは畜産業の快挙で
あります。9月に行われました北海道総
合家畜共進会において、本町の肉用牛が
クラス部門で1等になり、さらに総合で
最高位に輝いたのであります。これらは、
それぞれの農家の皆さまをはじめ、それ
を支える方々の努力のたまものであり、

関係者のご尽力に對しまして、心より感
謝を申し上げます。

国内経済を見ますと、全般的には景気
拡大が続いており戦後最長に達したとい
われておりますが、残念ながら北海道内
ではまだまだその実感がないのは事実で
あります。このような中、昨年の北海道
日本ハムファイターズの活躍は、道民に
生きる力と希望を与えてくれたばかりで
はなく、北海道経済の活性化にも大きな
波及効果がありました。また、暮れには、
かつて不評だった道産米が、食味と品質
の良さで人気急上昇しているという大
変うれしいニュースも届くなど、明るい
兆しが見え始めた一年でもありました。

本町は、昨年「いのち満ちる 農（み
のり）の里あつま 大いなる田園の町」
をメインテーマとした新しいまちづくり
計画をスタートさせました。

議会といたしましても、「農」を生かし
た協働のまちづくりをとおして、命を敬
い、尊重しあうことに心して、小さくと
も生きる力に満ちあふれた「ふるさとあ
つま」の創造を目指し、町民の皆さまの
意思を町政に反映させ、議会活動に積極
的に取り組んでまいる所存であります。
どうか本年も相変わらぬご支援とご協力
をたまわりますようお願い申し上げます。

2006 Memories

平成18年を振り返る



厚幌ダム1号トンネル貫通式

厚幌ダム建設に伴う
道上上幌内早来停車場
線切り替え工事区間内
にある、厚幌ダム1号
トンネル貫通式が、同
トンネルの坑内で行わ
れました。
発注者の北海道室蘭
土木現業所の吉田所長
をはじめ関係者80人が
参列。樽御輿^{しんご}通り抜け
の儀などのセレモニー
が行われました。
全長333・5m、
幅8m、高さ11m。
【1月28日】



厚真消防団へ竿頭授^{かんとうじゆ}

厚真消防団（大西武
雄团长）に消防庁長官
から竿頭授^{かんとうじゆ}が贈られま
した。
災害のない町を目指
し、防災意識の向上と
普及に努め他の模範に
なると評価されたもの
です。
苫東コールセンター
棟で行われた、春季火
災訓練の閉会式の際
に、胆振東部消防組合
管理者の藤原町長から
伝達されました。
【4月6日】



駒苦吹奏楽局が厚真で合宿

駒澤大学付属苦小牧
高校吹奏楽局が8月1
日から5日までの間、
町内で合宿し、最終日
にスポーツセンターで
コンサートを行いました。
部員数105人の
中には、厚真中学校吹
奏楽部に在籍していた
4人もいて、壮大なス
ケールの演奏に観客か
ら惜しみない拍手が贈
られました。合宿後、
部員たちは、野球部の
応援に甲子園に旅立ち
ました。
【8月5日】



厚真の和牛が全道一に

十勝管内音更町で北
海道総合畜産共進会が
行われ、池川勝利さん
（宇隆）出陳^{しん}「ゆうき」、
米田俊之さん（鹿沼）
出陳^{しん}「はるしげこ」、高
山昇さん（上厚真）出
陳^{しん}「はなかつ」が、牛
3頭群第9部で一等に
なることともに、肉用牛
部門最高位賞に輝きま
した。長年にわたって
改良に努力してきた町
和牛改良組合などの成
果が実りました。
【9月10日】

アドゥーマ全道一、全国大会へ

厚真を拠点に活動しているFC adoomaが、浜厚真野原公園サッカー場で開催された、全道女子サッカー選手権大会で全道の頂点に立つとともに全国大会の出場権を獲得しました。

12月に東京などで行われた全国大会でも道産子パワーを発揮し健闘しました。

【9月18日】



金子みすゞお話会などに500人

町社会福祉協議会などが主催し、「ボランティアばんざいin胆振」が初めて行われ、金子みすゞ記念館長の矢崎節夫さんによる「金子みすゞお話会」などに500人が熱心に耳を傾けました。

写真は、オープニングセレモニーで金子みすゞの詩「私と小鳥と鈴」を合唱する厚真中学校の皆さん。

【10月7日】



こぶしの湯あつま満10歳

平成8年12月にオープンしたこぶしの湯が、10周年を迎え、同施設で記念イベントが行われました。

町内の小学生6人が1日支配人・1日料理長として紹介されイベントが開幕。お楽しみ抽選会、マジックショー、各種早食い、早飲み大会など、子どもからお年寄りまで楽しめる多彩な催しが用意され、来館した方々はゆっくり楽しんでいました。

【12月17日】



その他の主な出来事

1月	厚真市街で厚真市街地で厚真消防団と消防署厚真支署の合同出初め式(6日)、第58回厚真町成人式で41人が社会人の門出(8日)、日本水難救済会浜厚真救難所で浜厚真漁港で出初め式(15日)	7月	第54回胆振管内婦人大会が福祉センターで開催され交流を深める(7日)、第36回胆振管内身体障害者スポーツ大会がスタードームで行われ厚真チームが初優勝を飾る(23日)、第23回あつま海浜まつりが開催(29~30日)
2月	スターフェスタ2006「第7回冬の花火大会・『戌』の干支文字焼き」と2006光のページェントinあつま「ランタン祭り」が行われる(3日)、俳優の児玉清さんを迎へ町文化講演会が福祉センターで開催(27日)	8月	第6回集まりンピックinサマーがかしわ公園野球場で開催(20日)、第8回胆振東部PTA連合会研究大会が福祉センターで行われる(27日)、町戦没者追悼式がしめやかに福祉センターで執り行われる(30日)
3月	平成18年第1回定例町議会が開会(7日)、浅野勝善さん(宇隆)と石井一義さん(富里)が北海道産業貢献賞を受賞し福祉センターで合同祝賀会(15日)、40回を数える趣味と工夫展が福祉センターで開催(10日)	9月	町敬老会が福祉センターで行われ180人が元気に出席(9日)、平成18年第3回定例町議会が開会(21日)、町国際交流協会がゆくりで中国家庭料理講習会を行う(28日)
4月	町内の4小学校、2中学校、1高校で入学式・133人の新入生が校門をくぐる(上旬)、地域の防犯厚真建協110福祉センター前で出発式(6日)、あつま遊楽農園が開園(30日)	10月	体育の日に第7回健康ふれあいマラソン大会が行われ136人全員が完走(9日)、JAとまこまい広域から町へ新米が寄贈(16日)、第23回東胆振物産まつりが苫小牧市内で行われ本町の特産物が人気(26~29日)
5月	町子育て支援センターで施設を利用する保護者が発起人となり初フリーマーケットを行う(20日)、高齢者事業団設立10周年記念式典・祝賀会が福祉センターで開催(26日)	11月	あつま新鮮組が苫小牧市内のスーパー前で初めて物産展を開く(5日)、厚真中央土地区画整理事業完成祝賀会が福祉センターで行われる(12日)、町民吹奏楽団が設立20周年記念ジョイントコンサートを開く(15日)
6月	第34回田舎まつりが開催(17~18日)、平成18年第2回定例町議会が開会(22日)、元町議会議員の故上田邦家さん(上厚真)と故澤口光夫さん(共和)に旭日光章の特別叙勲の伝達式が役場で行われる(26日)	12月	恒例の歳末チャリティー不用品即売会・演芸大会が福祉センターで開催(1日)、交通安全・防犯町民集会在福祉センターで行われる(11日)平成18年第4回定例町議会が開会(14日)



こぶしの湯あつま 利用促進アンケート結果

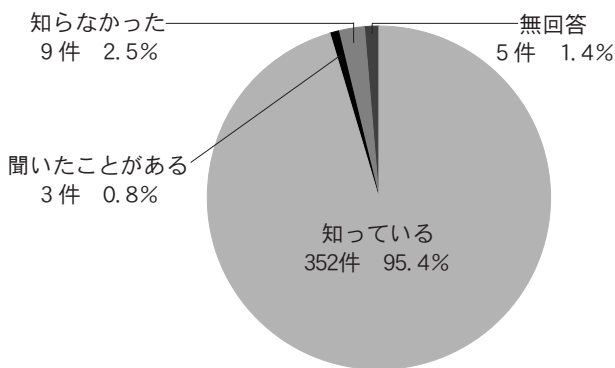
都市と農村の交流をはぐくむ拠点として、また、町民の憩いの場として、平成8年12月20日にうぶごえをあげた「こぶしの湯あつま」が、満10歳を迎えました。

近年、同施設は日帰り入浴の利用など減少傾向にあり、利用促進を図るため、町民の皆さんにアンケートを実施させていただきました。

(アンケート送付数1,986件、同回収数369件、回収率18.9%)

多数の貴重なご意見をいただきありがとうございました。

今月は、アンケートの結果と町交流促進センター運営検討委員会からの答申についてお知らせします。

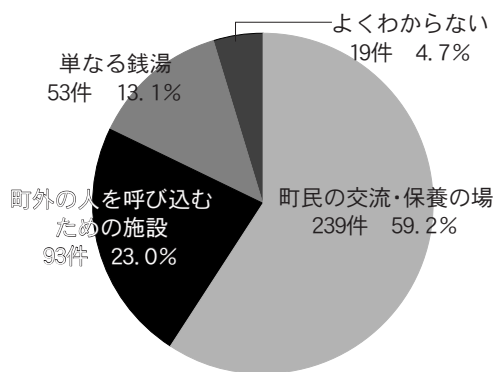


問1
交流促進センター「こぶしの湯あつま」をごぞんじですか？

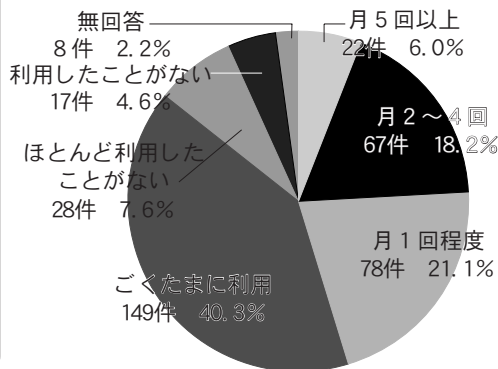
問4

問3でほとんど利用したことがない、または、利用したことがないとお答えの方にお聞きします。理由をお聞かせください。(一部)

- | | | |
|-------------|-----|-------|
| 料金が安い | 13件 | 11.1% |
| 温泉でない | 30件 | 25.7% |
| 知り合いに会うのがいや | 22件 | 18.8% |
| 家から遠い | 26件 | 22.2% |
| 家の風呂以外利用しない | 13件 | 11.1% |
- ・四季の館が近い
 - ・料金払って行く所でない
 - ・時間がない
 - ・丘の上に立っているため、上り口を1カ所ではなく何カ所か作ってほしい。車ばかりでなく歩いていけるように
 - ・行くチャンスがない
 - ・町民の交流・保養の場が理想なのでしょうがゆっくりと休むことが出来ない
 - ・あいさつするだけで疲れるので主人はあまり好みません。主人は年1~2回くらい



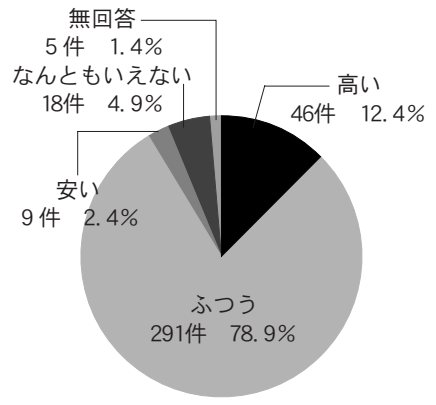
問2
当施設にどのようなイメージ(印象)をお持ちですか？



問3
今まで当施設をご利用になられたことはありますか？

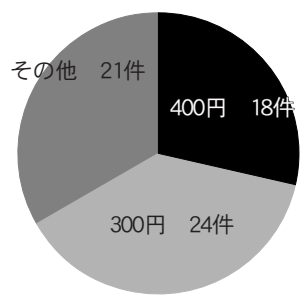
問5

入浴料は、現在、大人500円/小人250円ですが、この料金を高いと思いますか？



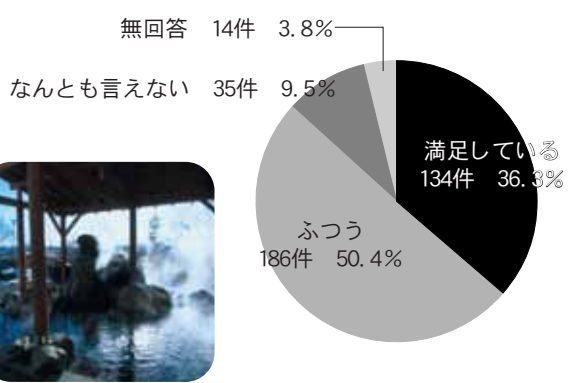
問6

問5で高いまたはなんともいえないとお答えの方にお聞きします。この料金ならお用しやすいと思う金額をお答えください。(大人)



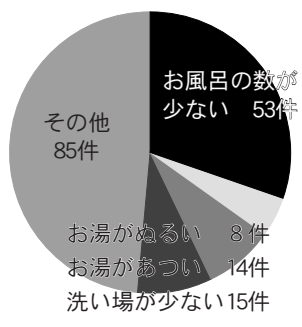
問7

大浴場および露天風呂について



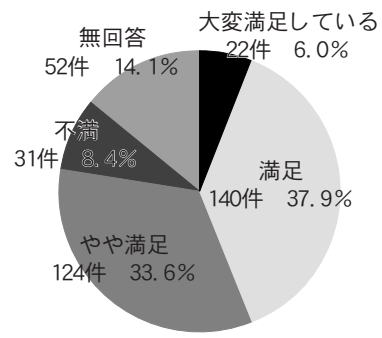
問8

問7でふつう、なんともいえないとお答えの方にお聞きします。



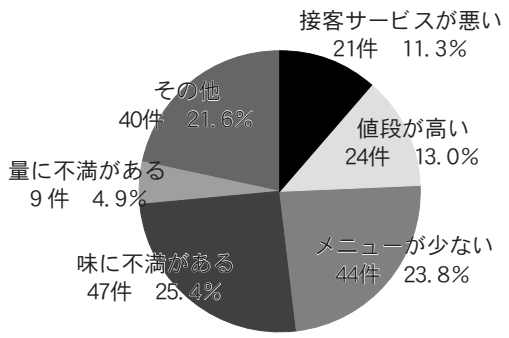
問9

レストランをご利用になられての感想をお聞かせください。



問10

問9でやや不満、不満とお答えの方にお聞きします。理由を教えてください。



問11

こんなメニューを増やして欲しいなどの要望をお聞かせください (一部)

味を一定にして欲しい/レストランが遠い/高いと感じるメニューと普通と感じるメニュー有る/刺身もメニューに入れて/お酒のつまみをふやしてほしい/食券方式でなくウエイトレス方式が良いと思う/レストランの室が狭いですね/特に漁協と提携した魚料理があるといい、煮魚、焼魚などにぎり寿司など/パスタの種類等バリエーションを多くして欲しい/鹿肉を使った丼はどうか/デザート系を増やしてほしい/定食/ビビンバ、ハスカップ味のソフトクリーム/こぶしの湯に來たらこれっという一品を考えてほしい/特にソバのおいしいものと考えてほしい/肉類を使った絶品を一点つくってもらいたい/高齢者など量が多いという話もある。高齢者や子供の量にあったハーフサイズの量もあった方がいいのでは/厚真産のものを使った料理/食事がどうこうと言うものではなく、泊り客、一般と食堂を使うためだでき狭いの待たされる。別にしたほうがいいのでは/現状維持でいいと思います。味もおいしいです。値段も味に負けていませんよ/私達はコーヒーをのみにとか、食事だけで利用する方が多く、それだけでも気軽に行けるようにしてほしい/デザートやコーヒーなど飲み物の種類を多くして欲しい/量が少なくて単品のメニューをふやしてほしい/今時にない塩分の多い味だと思ひます。もっと薄味にしてほしい など

こぶしの湯への要望や気づいたこと (一部)

お客様に対する接客がなっていない。もう少し頭を下げ顔には笑いのある態度が望ましいと思ひます。/やってくれる人がいければ民間に渡したほうがいい/皆さん一人一人が利用者に対していい接客態度です/宴会をもう少し練習工夫をすべきである/現状では入浴休養が主になつていて原点在り帰って町内者と町外者の交流促進を図る方法を考えて欲しい/年間使用できる定期があればいいと思ひます/最低限きれいでシンブルに気長にお金をかけずに維持してください/館内を禁煙にして欲しい/食堂と休憩室が近くになればいい/売店の品数が少なすぎる/厚真町をアピールするために地元の特産物コーナーなどを充実させたほうがいい/入浴客を呼び込めないのならレストランにお客がくるようにするとかもっと色々考えましょう/田舎らしさをもっと強調したほうがいい/こぶしの湯のいい所はお風呂館内が清潔なところだと思います。これをずっと心掛けてください/休憩室の近くに売店がないのが不便。この様な所は他にはないですよ/入浴料金を町民には少し割引する制度などあるともっと利用者が増えるのではないのでしょうか?/男湯と女湯、時々替えてはいるかがどうか/駐車場に白線を入れたらどうか/リラクセスできる所が無い/迎車、町職員で実施している様ですがシルバークに依頼しているだけでも実施したらどうか/この施設はなぜフロント部と入浴場入口がはなれているのだろうか?他施設を多数利用してきましたが、こんなに入浴場へフリーで行ける所はあまりないですよ など



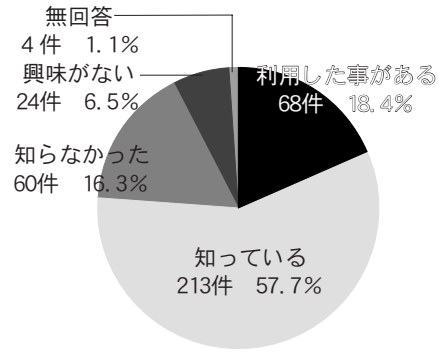
さらに利用しやすい
保養・交流施設を目指します

こぶしの湯あつま
支配人 宮澤 正明

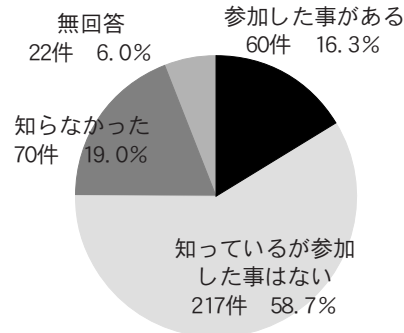
平成18年9月25日に運営検討委員会より、経営改善等に対する答申がなされ、また、町民からの利用促進アンケートも集約させていただきました。委員の方々と町民の皆さまのご協力に対しまして心からお礼申し上げます。

答申とアンケートの内容を、町職員で構成する運営改革プロジェクトチームで十分検討し、町財政事情を勘案しながら積極的に改善し、入込み減少の歯止めを行い少しでも経営状況が好転するよう、職員一丸となり取り組みます。

町民皆さまに対し利用しやすい保養・交流施設として、さらに経営改善に努めてまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。



問12
当施設内に
農産物加工実習室があるの
をごぞんじでしたか？

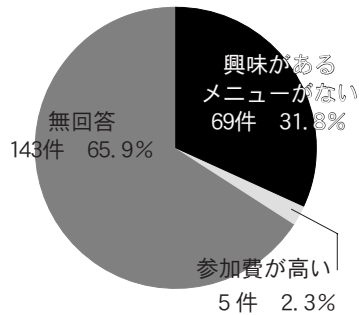


問13
地元の農産物を利用した加工
体験会を開催しているこ
とをごぞんじでしたか？

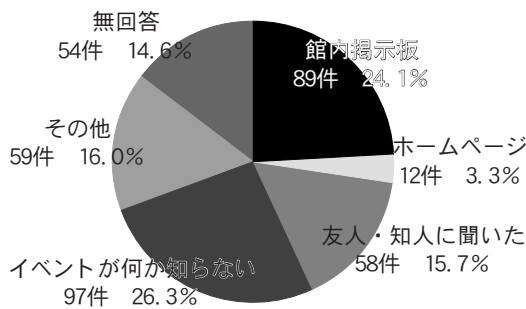
問15

こんなメニューがあれば参加したいと思うものをお聞かせください。(一部)

しそジュース／チーズ作り／パンやお菓子／子供が参加しやすいフライドポテトなど／ビール作り／ハマボウフウ料理、さといも料理、山菜料理／男の料理、共稼ぎ家庭用簡単メニューなど／漬物とか伝統のある日本の昔からの食物／加工体験会についての情報が足りない／農産物ばかりではなく水産関係(くんせい)のやり方／みそづくり～おふくろみそを愛用しているが自分でも作りたい／バター作り／お年寄りの講師で昔風の料理味を見たい など



問14
問13で知っているが参加したことはないとお答えの方にお聞きします。理由を教えてください。



問16
当施設で行われているイベント情報をどこでお知りになりましたか？

問17

当施設をもっと利用するために
どのようなサービスやイベントがあれば良いと思われますか？ (一部)

地元特産物の販売をすると収益が上がるのではないかと／年に1～2回町民に無料券をあげる。そうすると何人か連れて行く／町外に向けてもっとアピールしてはどうか／たくさんの人に利用してもらうにはこぶしの湯の近くでスポーツ大会等を開催して同時に利用してもらう／ドーム等との共存・提携 広間を利用したイベント 料金の改定／町民一人一人が(会議、宴会等)を利用するよう努力、協力してもらうこと／宴会料理の充実／毎週水曜はレディースデーとか8時以降とかは町民デーとか日にちを決めて100円～150円程度安くすればもっと身近な施設になるだろう／毎月1回こぶしの湯の日とかミニコンサート、くじ引き等／町外にチラシを出す／これからの時代は農業と田舎の時代になると思うからそれに力を入れたらいいと思う／せめて休憩所から飲み物を注文出来持って来てくれるといい／自由に入れて風呂のほうへ行くときに料金を払うようにしたら良いと思います／パークゴルフと汗を流す風呂(こぶしの湯)の組み合わせ／家族で楽しめるイベントが集客できると思う／室内テントで新鮮な野菜を毎日販売／ハスカップなど厚真町のをレストランに関しては直接入れるように入り口を増やした方が良い／小学生以下無料開放日／外でジンギスカンコーナー等(ジンギスカンブームなので) など

厚真町交流促進センター運営検討委員会からの答申

平成18年9月25日

厚真町長 藤原正幸 様

厚真町交流促進センター運営検討委員会 委員長 菅原治一

厚真町交流促進センター（こぶしの湯あつま）運営委員会の答申について

平成17年7月当委員会が設置されて以来6回にわたる委員会を開催し、常に明るい環境プラスもてなしの心を重要なキーワードとして、最終結論を求めつつ積極的な審議を続け今日に至っております。

この間3月8日には一部課題を残し、中間報告書を町長あてに提出したところでもあります。

さて、極めてきびしい経営状態の中であって、ことに町財政負担の圧縮を優先しながら、新規集客増はもちろんのこと何度でも来てくれる客を増やすためには、どのような対応をとるべきかを念頭に据えて、経営改善するには競争原理を働かせる必要性を認識しながら、現状分析の上にとって町民の声も真摯に受け止め、経営形態のあり方や施設整備の進め方、さらには管理運営の見直し等、区分毎の改善項目を掲げ知恵を出し合っ、慎重に検討協議を重ねた結果、別添のとおり、施設経営改善計画書および経済収支試算表の取りまとめが出来ましたので、本町唯一の都市とのふれあい交流の場、あるいは町民の保養施設として、是非とも存続させる勇気と決断のもとに、ご検討いただき可能な限り速やかに実現くださるよう特段なご高配を賜りたくお願い申し上げます。

1) 経営改善に関する基本方針（骨子）

■経営形態について

- 現在の直営方式で当の間は止むを得ない。ただし、経営のノウハウを持ち意欲のかつ積極的に経営改善に取り組む業者を選定するため、NPOを含め広く公募手続きを検討すべきである。
- 町職員の派遣については本年度限りで中止し、新たに経営のノウハウを備えた人材を配置の上、徹底した経営の刷新を図るべきである。
- 従業員に求められている意識改革（接客態度、経営心得）を重視した教育プログラムを検討すべきである。

■施設整備について

大規模な増改築工事を除き、施設の運営上必要最小限の改造または補修にとどめ、予算の範囲内において年度計画に基づき実施すべきである。

■管理経費について

- 石油価格の高騰に伴う燃料節減のため、近隣業者を含め施設単独での競争入札方式を取るべきである。
- 総合管理委託料の5%削減を実施すべきである。
- 主たる収入源である入浴料の値上げを実施すべきである。現行大人500円を600円に、ただし、小人250円は据え置く。
- 一般管理費、施設運営管理費について5%削減を実施すべきである。

- 日帰り入浴の営業時間を短縮し、燃料費や水道使用料などの節約をすべきである。現行10:00~22:00を13:00~22:00に変更する。
- 家族全員が利用できる企画として、入浴料の家族割引を実施すること。
- 連泊客に対する制度を継続するが、この取り扱いについて1日目からではなく、3日目からに変更し実施すべきである。
- 贈答用などに求めやすく利用者が増えている回数券つづりについて、新しく6枚つづりを発行し利用客の拡大に努めるべきである。
- 団体利用者に対し団体割引を実施すべきである。

■特記事項

交流促進センターとしての役割を担う本町唯一の目玉事業であるこぶしの湯が、今やひっ迫した経営状態にさらされているが、一日も早く適切な善後策を講じることによって健全な運営を可能にする、明るい見通しにたって存続できる環境に目処が付くと考えている。

※試算

- 行政機構（経済部）にこぶしの湯再建対策室を設置するか、または運営改革プロジェクトチームの編成を強く要望する。
- 学識経験者（専門家）による高度な経営診断の実施を強く要望する。

2) 施設経営改善計画書

種別	項目	年度別計画表			概算工事費 (単位:千円)
		19年度	20年度	21年度	
施設整備事業	談話室の増築・軽食コーナー設置	←→			8,000
	浴室の補修（サウナを含む）	←→			10,290
	外壁の改修		←→		16,485
	屋根の塗装		←→		6,300
	足湯の設置			←→	8,000
	バーベキューコーナーの設置	←→			500
	特産品販売所の設置	←→			150
		18,940	22,785	8,000	49,725

3) 経済収支試算表

(単位:千円)

■収入の部

	17年度実績	18年度見込	19年度	20年度	21年度	摘要
使用料	70,596	67,470	71,770	73,770	75,770	入浴料、宿泊料、その他の使用料
飲食料	44,105	42,500	45,000	46,000	48,000	宿泊宴会等飲食料、レストラン飲食料
諸収入	3,261	3,020	3,020	3,020	3,020	物品販売収入、その他
財産収入	528	600	600	600	600	
合計	118,490	113,590	120,390	123,390	127,390	

■支出の部

	17年度実績	18年度見込	19年度	20年度	21年度	摘要
委託料	74,936	73,050	69,700	69,700	69,700	総合管理委託料、保守点検委託料
需用費	47,430	50,645	47,500	47,500	47,500	燃料費、電気料、水道使用料、ガス使用料など
一般管理費	33,149	32,000	30,000	30,000	30,000	施設運営管理費
工事請負費	3,539	0	18,940	22,785	8,000	施設整備費
合計	159,054	155,695	166,140	169,985	155,200	

■収支総額

収入合計額	118,490	113,590	120,390	123,390	127,390
支出合計額	159,054	155,695	166,140	169,985	155,200
差引不足額	△40,564	△42,105	△45,750	△46,595	△27,810



9月25日、役場町長室で菅原委員長から藤原町長に答申書を手渡す

議 会

平成18年第4回定例会が、12月14日～15日、2日間の会期で開催されました。

審議されたのは、厚真町副町長定数条例の制定など議案16件、認定6件、報告2件、意見書案1件で、議案第4号および第5号を除き、いずれも原案ごおり可決、認定されました。

その主な内容についてお知らせします。

なお、議案第4号および第5号は、産業建設常任委員会に付託し、閉会中の継続審査とすることになりました。

議 案

助役から副町長に改められます

町長を支えるマネージメント機能の強化を図るため、「地方自治法の一部を改正する法律」が平成18年6月に公布され、平成19年4月1日に施行されます。

この改正は、現行の助役制度に代えて、副町長を置くこととされ、副町長の定数は、条例で定めることとされたので、地方自治法規定に基づいて定数を1人とする、厚真町副町長条例が制定されました。

さらに改正法では、副町長はこれまでの助役が担った町長の補佐、職員の監督、町長の職務代理に加え、町長の権限の委任を受けて、自らの権限と責任において、事務処理に当たることが可能になりました。この条例施行に併せて平成19年4月までに、町長が委任する権限についても規則での具体化を検討していきます。

地方自治法の一部改正による関係条例の整理

地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、収入役制度が廃止され、会計管理者制度になることから、収入役に関わる関係条例を廃止、また、職員の吏員制度も廃止されることから吏員を規定している関係条例を改めるため、地方自治法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例が制定されました。

役場の体制が部制から課制へ移行します

行政体制の効率化を目指すとともにスピーディーな行政執行により、政策課題へ迅速な対応を図るため、部制を廃止し、課制とする厚真町課設置条例が制定されました。

これにより、現行の総務民生部、企画調整部、経済部、建設部の4部(10課)制から、平成19年4月1日から、総務課、町民課、保健福祉課、まちづくり推進課、産業経

審議された内容

意見書案	報告	議案	審議された内容
1	1	1	厚真町副町長定数条例の制定
2	2	2	地方自治法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
	3	3	北海道後期高齢者医療広域連合の設置
	4	4	厚真町浄化槽市町村整備推進事業に関する条例の制定
	5	5	公共下水道事業特別会計条例の一部改正
	6	6	単身者住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正
	7	7	地方自治法の一部改正に伴う安平・厚真行政事務組合規約の変更
	8	8	胆振東部日高西部衛生組合規約の変更
	9	9	地方自治法の一部改正に伴う胆振東部消防組合規約の変更
	10	10	平成18年度厚真町一般会計補正予算(第6号)
	11	11	国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
	12	12	老人保健特別会計補正予算(第2号)
	13	13	介護保険事業特別会計補正予算(介護サービス事業勘定補正予算(第3号))
	14	14	平成18年度厚真町簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)
	15	15	公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)
	16	16	厚真町課設置条例の制定
認定1			平成17年度厚真町一般会計歳入歳出決算の認定
2			国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
3			老人保健特別会計歳入歳出決算の認定
4			介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
5			簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定
6			公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定
報告1			所管事務調査報告(各常任委員会)
2			現金出納例月検査の結果報告
意見書案1			日蒙FTAに関する意見書

済課、建設課の6課になります。
なお、くわしくは、広報あつま
2月号および3月号でお知らせす
る予定です。

18年度一般会計予算 56億6,392万9千円に

18年度厚真町一般会計予算は、
歳入、歳出それぞれ、1,938万
6千円が減額され、総額で56億6、
392万9千円になりました。

補正された主なものは、次のと
おりです。

【追加】

・非常用電気設備設置工事

1,064万7千円

・知事および道議会議員選挙費

223万8千円

・こぶしの湯あつま燃料費および

修繕料

369万7千円

【減額】

・本郷公営住宅建設事業

△3,245万5千円

・胆振東部消防組合負担金

△344万2千円

北海道後期高齢者医療広域 連合の設置に向けて

平成18年6月に国会で議決され
た「高齢者の医療の確保に関する
法律」により、平成20年4月から
75歳以上の方などを対象に、新た
な後期高齢者医療制度が創設され
ることになりました。

この後期高齢者医療の事務を処
理するため、市町村は、都道府県
単位ですべての自治体が入る
広域連合を設けるものとされてい
ます。

広域連合は、制度施行の準備の
ため、平成18年度末日までに設け
るものとされており、広域連合を
設けるには、関係市町村議会の議
決により規約を定め、知事の許可
を受けなければならないことによ
るものです。

報 告

各常任委員会から 調査事項など報告

■総務文教常任委員会 (古川歳雄委員長)

開催日 10月23日

(現地調査)

①チャシ跡地

(事務調査)

①チャシ跡地について

②厚真高校の存続について

③食育の取り組みについて

④福祉バス運行等事業について

⑤ごみ収集処理方法の現状と新た

な分別収集の必要性について

⑥ごみの不法投棄対策について

■産業建設常任委員会 (海沼裕作委員長)

開催日 10月24日

【事務調査】

- ①高齢者事業団と造園業者の公園維持管理費の格差について
- ②ほ場整備事業終了後の水田で汎用化が困難な箇所について
- ③交流促進センター運営検討委員会の答申内容について

認 定

平成17年度町各会計の 歳入歳出決算を認定

決算審査特別委員会（沢口伸二
委員長）に付託されていた平成17
年度の厚真町一般会計および国民
健康保険事業、老人保健、介護保
険事業、簡易水道事業、公共下水
道事業の各特別会計歳入歳出決算
について、委員長から意見を付け
た報告が行われ、本会議で認定さ
れました。

付帯意見

(一) 各会計における収入未済に
ついて、一部の費目でその解消に
努力の跡が見られるが、全体的に
は依然として増加傾向にある。財
源の確保、負担の公平などの観点
から、組織を挙げての取り組みや
法的措置も視野に入れるなど、な
お一層収納率の向上に努められ
たい。

(二) 各種公共施設において停電

などへの備えが十分でないものが
見受けられた。特に住民生活に多
大な影響を与える施設や設備につ
いては、自然災害などによる不測
の事態に備えた、ハード、ソフト
両面にわたる万全の危機管理体制
を構築されたい。

(三) 各種行政サービス、団体に
対する支援などの事務事業の一部
において公平性や効果に疑問の残
るものが見受けられた。行財政改
革はもとより行政に対する信頼確
保の観点からも、大局的な見地か
らの検証、検討が必要と思われる。

(四) そのほか審査中の指摘事項
については、十分検討の上、新年
度予算に反映させるなど最大の行
政効果が発揮されるよう努められ
たい。

意見書案

日豪FTAに関する 意見書を採択

海沼議員が提出者、木村、森田、
今村、岡部、山田、佐藤議員が賛
成者となって提出された「日豪F
TAに関する意見書」が採択され、
内閣総理大臣、農林水産大臣など
に提出されました。

【意見書は、下記のとおり】

日豪FTAに関する意見書

日豪政府は昨年11月以降、日豪FTA交渉について、メリット
デメリットを含めさまざまな方策を幅広く検討し、今般、共同
研究報告をまとめたが、その報告書には、牛肉、乳製品、小
麦、砂糖など重要品目の関税撤廃の回避が担保されていない。

豪州からの輸入状況を見ると、農林水産物の占める割合が
28%と高く、特に、米、麦、肉類、乳製品、砂糖などその多
くが北海道の主要農畜産物と競合している。

FTAにおいては、すべての分野の関税撤廃が原則であり、豪
州はこれまでほとんど例外品目を認めていないため、日豪FTA
締結により関税が撤廃されることが危惧されるとともに、その

後の他国への波及も予想され、北海道農業のみならず関連産業
は壊滅的打撃を被り、地域社会が崩壊する恐れもある。

よって、日豪FTA交渉にあたっては下記の事項の実現を図る
よう強く要望する。

記

- 1 食料自給率の向上や農村の振興等を考慮の上、北海道の主
要農畜産物である米麦、牛肉、乳製品、砂糖などの重要品目
を関税撤廃の対象から例外扱いとすること。
- 2 豪州が我が国の重要品目の柔軟性に配慮しない場合は、交
渉中断などの毅然たる対応を行うこと。

日ハムを地域を上げて支援

道内で六十三番目となる厚真後援会を設立

北海道日本ハムファイターズを応援する「あつまファイターズクラブ」の設立総会が十二月二日、総合福祉センターで同球団職員などの立会いの中で行われました。

菅原治一さん（新町）を中心に十一月から旗上げの準備を進め、百二十人を超える賛同者を集めました。この日は、約三十人が出席し道内で六十三番目となる後援会を設立。会長には菅原さんが就任し「明るい北海道になるよう、常に上昇するチームを地域を上げて支えていきたい」とあいさつをしました。同クラブは、札幌ドーム応援ツアーや少年野球教室の開催などを行う予定となっています。

後援会の入会に関する問い合わせ先は、寺坂文秀さん（☎27-2001）まで。



あいさつをする菅原会長(上)と講演会の皆さん

町民の皆さんの多彩な芸 500人が楽しむ

歳末助け合いチャリティー演芸大会が12月1日、総合福祉センターで行われました。

町婦人団体協議会（藤本昭子会長）が主催し、今年で30回を迎える年末恒例の行事。藤本会長が「出演する方々の1年間の成果を楽しんで」とあいさつの後、各婦人団体、文化団体などから25にもものぼる演目が披露され、会場に詰め掛けた約500人が多彩な芸に拍手を贈っていました。

入場の際して購入する一口300円の募金券の益金は、後日町社会福祉協議会に寄付されました。

漁協女性部の皆さんによる踊り



柘人くん(右)と愛果ちゃん



ぼくはシルバー わたしはブロンズに合格

葛西柘人くん（5歳・新町）と西岡愛果ちゃん（4歳・同）が、このほど財団法人日本英語検定協会が行っている英語児童検定で、それぞれシルバーとブロンズ試験に合格しました。隣町の外国人の先生が教えている英語教室に週1回、柘人くんは3年、愛果ちゃんは1年半通い、楽しく英語に親しんだ成果が見事結果に表れました。

柘人くんは「英語のできるヒーローがぼくの夢」、愛果ちゃんは「英語がペラペラの警察官になりたいな」と笑顔を見せて将来の夢を話していました。

まちの話題

粘り強くがんばるぞ！ もちつきで合格祈願



保護者のあいの手でもちをつく生徒たち

十二月十五日、厚真中学校（高橋啓夫校長）で同校三年生全員が高校受験に向け、合格祈願のもちつきを行いました。このもちつきは、昨年度から保護者などの協力により始めたもので、三年生の生徒たちに好評な行事。重たいきねを持ち上げるのがやっとの生徒や、慣れた腰つきで力いっぱいもちをつく生徒などさまざま。周りで見ている生徒たちは「合格！合格！」と掛け声をかけ、ついたもちに舌鼓を打っていました。

喜多亜梨紗さんは「おもしろかった。きねがちよっと重く、意外とうすの中のもちは硬い感触だったかな。ぱっちり合格できそうです」と話していました。

高度な設備を持つ高規格救急車を配備

胆振東部消防組合厚真支署で、このほど石油貯蔵施設立地対策等交付金を財源に、高規格救急車を更新しました。購入費は約3,500万円。

新しい高規格救急車は、ベッドが磁器により浮上することにより、患者さんへの衝撃が少なくなるとともに、電動でストレッチャーを搬入できることから職員の負担が軽減できます。また、事故の処置に必要な電気カッター、ナビゲーションシステム、衛生電話などを搭載しています。



理科の実験はおもしろいね！

12月13、14の両日、富野小学校（佐々木恵子校長）で厚真高等学校長の永田先生による理科の授業が行われ、授業を受けた5・6年生は酸素や二酸化炭素を作る実験などを体験しました。

永田校長は「サイエンスレンジャーの資格を持っているので、一般の方を対象とした授業経験はありますが、児童に授業形式で指導するのは初めて。小学生が理科の実験に親しむのは、今後、何かの機会に役にたつことがあると思います」と期待を寄せていました。



「これ素敵ね」 物は大切にリサイクル

十二月一日、歳末助け合いチャリティー不用品即売会が総合福祉センターで行われました。物を大切にす環境づくりを目指して、町コミユニティ運動推進協議会（小松岩雄会長）が行っているもので、趣旨に賛同した町民の方々からたくさん衣類、陶器、運動用品などが集まりました。どの品物も五十円から百円で販売され、益金は、町社会福祉協議会に寄付されました。



「火の元には気をつけて」 お年寄り宅を訪問

厚真消防団（大西武雄団長）女性消防団員十人が十一月十八日の土曜日から三週にわたり、三班に分かれて、ひとり暮らしをしているお年寄りのお宅を訪問し、防火を呼びかけました。上厚真の村田公聡さんを訪れた団員は「火の元には注意してくださいね」と声をかけ手作りの小物を手渡すと、「そろそろ来るころだと思っていたよ。小物は毎年とってあるんだ」と村田さんは笑顔で話していました。

いきいき

ふるさと

図鑑

出 会



人の和が一番大事、仲間はわたしの宝もの

上厚真 曾我昌俊さん（68歳）



町内で造園業を営む曾我さん。十一月に厚生労働大臣表彰を受
けられました。これは造園職種技
能検定委員として長く技能検定制
度の普及に努めたことを讃えられ
たもの。「特別なことをしたわけ
もないので、辞退しようかと思
ったんだけど、仲間たちにも勧め
られ受けることにしたんです。い
い仲間たちに出会って支えられ
きたおかげなんだよ」と今回の受
賞に対してあくまでも謙虚。

勉強をさせていただきました」と
当時を振り返ります。
胆振地区造園技能士会を設立し
共に歩んできた仲間たちとは、会
えば酒を酌み交わしながら楽しん
でいました。「我々は『技能士像』を
目標に、みんなで支えあったから
こそ良い体制ができた。どんなこ
とでも人の和が一番大事なんじゃ
ないかな。造園の仕事は奥が深い
ので今も勉強することばかり。知
識はいくら使っても人にあげても
無くならないものだからね。あと
は大自然が教えてくれるんだよ。
だから自然を大切にしながらダメ
なんだ。それから、『家庭』という
字にも意味があるんだよ。家は身
体に栄養を与え、庭は心に栄養を
与える。今はその庭がなくなっ
てきているから心の栄養も不足し
ているかもしれないね。伝統的な
日本庭園が減ってきているのは残
念に思うよ」と庭への思いを語り
ます。
「あとは後輩たちに道を譲り、
できた時間を元気なうちに存分に
楽しみたいね」。



▲目標にしている技能士像

私の大切な家族

ペット

厚真町しょうじ小路ピーちゃん ♂ 3歳 (セキセイインコ)

表町 小路 幸則 さん家族



小路さんの肩でくつろぐピーちゃん

2人の子どもが家を離れたのを機会に何か動物でも飼ってみようかと考えていた小路夫妻。

「ペットショップで何羽もいた中から一番元気なところが目に留まったんですよ」と奥さんの順子さん。ご主人と奥さんが食事をしている食卓にやってきてピーちゃんは家族の団らんに加わる。「インコはベジタリアンだと思うんですけど、魚が大好きなんですよ」。

おしゃべりが上手で、「お父さんおはよう」、「おかえり」と話すのをはじめ、「がんばれ！がんばれ！ファイターズ！」と日本ハムの野球中継をテレビの前で観ながら応援していたと言う。

計算も覚えているピーちゃん。「イチ足すイチは二。あとはわからない〜」とかわいい声でつぶやいた。

本

私の出会った素敵な本

「黒豹全集」全26巻

門田泰明／作

新町 佐々木 誠次 さん

北海道電力榎野東厚真発電所発電課長として、平成18年8月に着任した佐々木さん。

中学生のころからよく本を読むようになったそうで、「好きなジャンルは、SFやサスペンス、バイオレンスもの。何でも読みますが文学書は苦手ですね」。

紹介してくれた本は、15年前くらいに買い求めたと言う黒豹全集で、全部で26巻に達すると言う。「主人公の男は優しくて強い男でね。そんな男になりたいなあ憧れを持って読んでいますよ」。バス通勤する社宅から会社までの片道約25分、往復約1時間が佐々木さんの読書の時間。「1週間で1冊は読めますよ」。

「何年かたつと本の内容がどうだったか忘れるんですよ。だからこの黒豹全集を読むのは2・3回目になるかな」と白い歯を見せほほ笑んだ。



みんなの広場

係に寄せられた声



みんなの

みなさんの声をお寄せください

- ・こんな記事を読んでこう思った。
- ・こんな疑問を持っている。役場のみなさん教えてなどどんなことでも結構です。

紙面は無記名ですが、住所や氏名、性別、年齢は伺います。

●総務課広報広聴係 電話 27-2321 FAX 27-2328

すごいですね！

八十歳以上の人の自分の歯を二十本以上お持ちの方が十人もいるとのこと。すごいですね！

私も今、六十八歳で二十八本ありますが、八十歳までになくさなようにしっかりと守っていいうと思えました。

(60歳代/女性)

立派！

八十歳以上で自分の歯が二十本以上ある方が十人いて、その中で二十八本ある人もいるんですね。なかなか難しいことですよ、自立派です！

そして、今年の「虫歯が一本もない子どもたち」は二十二人も！たしか昨年はそれほど多くなかったような気がします。家でのお父さんお母さんたちのがんばりがうかがえます。こちらも自立派！

歯みがきをきちんとすることで、やっっているようで意外と難しいです。時間がないときは簡単に

済ませたりもします。でも、この方たちのように頑張ろうと思えます。

(30歳代/女性)

今年が亥年

今年が亥年。十二支の最後の干支です。

イノシシがいるのは西日本中心で、北海道にはいないんですね。そうなるかと本物を見てみたい気がします。

イノシシといえば「猪突猛進」という言葉が思い浮かびます。これは「周囲の人のことや状況を考えずに、一つのことに向かって猛烈な勢いで突き進むこと」だそうです。

何事も、勢いを持って進めていきたいですが、周りの人や状況には常に気を配ることを忘れずに行きたいと思えます。

(30歳代/女性)

こんにちは！役場●●●係です

都市施設課
下水道調整係
(課長補佐)
小松豊直



下水道と浄化槽を担当しています。

早いもので厚真へ来て二十九年が経ち、二人の子と私にとっても、ここが故郷になりました。今年も千支のように猪突猛進を目標にと言いたいのですが、羊の私には「焦らず着実に」が合っているようです。

保健福祉課
京町保育園
三上保子



子どもたちの笑顔から、エネルギーをたくさんもらい、働く楽しさになっています。

これからも、お母さんたちと一緒に子どもたちの成長の手助けをしながら、笑顔のたえない楽しい保育園にしていきたいと思えます。

今冬も寒いですね。風邪などひかれていないでしょうか。

私の担当は主に町有林の維持管理や野生鳥獣の保護などです。近年、全国的にアライグマによる被害が増大しています。昨年は、町内でも百十三頭捕獲されました。数に限りはありますが、箱フナをお貸ししていますので、お困りの方は林務係までご連絡ください。

商工経済課
林務係
田中紀嘉



議会の庶務委員会の会議録の調製などの業務を担当しています。

議員の生の声を通し、行政にはさまざまな問題があるということを痛感しました。三月にはライター議会がありますので、気軽に傍聴してみませんか。

議事事務局
庶務係
今多智子



人のうごき

12月1日～12月15日届出分

マチの善意

- 社会福祉協議会に金一封



キッズ 2月の予定

子育て支援センター「ゆうゆう島」情報



月	火	水	木	金
水曜の午後はサークル活動日です。子育て中のお母さんたちのおしゃべりの場など、気軽にご利用ください(要予約)。			1 開放日	2 開放日
5『ジェニファ ーと遊ぼう』 ※年齢に関係なく 遊びに来てね!	6 開放日	7 ぴよぴよ広場 自由におしゃべりを 楽しんでね!	8 開放日	9 開放日
12 休館日	13 子育て講座 「お菓子作り」 *午後は休館です	14 なかよし広場 『うごくきつねさん』 *前日までに予約してね!	15 開放日	16 開放日
19『ジェニファ ーと遊ぼう』	20 開放日 保育園ホール開放日	21 子育て講座 「ソフトエアロ」 *午後は休館です	22 開放日	23 開放日
26 開放日	27 開放日	28 なかよし広場 『のびる鬼』 *前日までに予約してね!		

★子育て講座については「保健の掲示板」(P21)をご覧ください。

★子育て支援センター「ゆうゆう島」ホームページはこちらからどうぞ!
厚真町ホームページ <http://www.townatsuma.hokkaido.jp/>
→各課からのお知らせ→保健福祉課→子育て支援センター「ゆうゆう島」

*利用時間 午前10:00～11:30 午後1:00～4:00

*『ぴよぴよ広場』 第1・3水曜日の午前中(予約はいりません)
0～1歳までのお子さんご家族が対象です。お子さんを自由に遊ばせながら、親同士の情報交換の場としてご利用ください。

*『なかよし広場』 第2・4水曜日の午前中
1歳～就学前までのお子さんご家族が対象です。手遊び・ゲーム・製作など、季節の遊びも取り入れ、親子で楽しみましょう。

*『ジェニファ-さんと遊ぼう!』 開催日の午前中
カードや手遊び、うたなど英語を使って楽しく遊びましょう。

*開放日には、お気軽に遊びに来てください。

*電話相談(9:30～17:00)・来所相談(10:00～16:00)・予約、そのほかお問い合わせなどは

☎27-2321(役場)内線237 子育て支援センターへ!!

ホツとひといき

町内の小学校に行つたときのことです。ある男子児童への取材を終え校舎の外を歩いていると、教室の窓をたたく音がしました。何だろうと振り返ってみると、さっき取材をした男の子が私に用事があるようだったので、そばに寄ってみました。でも、窓の鍵が開けられず、今度は玄関の方へ回って行きました。先生に玄関の鍵を開けていただき、「どうしたの?」と聞いてみると、手に持っていたものを私のほうへ差し出すの

です。よく見るとその子が描いた大きな家の絵でした。取材中の話では、最近絵を描くのも好きになってきて、担任の先生にプレゼントしたりしているとか。その話のときに、「うらやましく思いつい「いいなあ」と言っていました。そんな私にも、自分で描いた絵をプレゼントしてくれたのです。うれしかったですね。何が彼の心の優しさかです。単純だと思われても、私は純粋にうれしかったです。ありがとう! (藤)

「広報あつま」を読んでクイズに応募すると、正解者の中から抽選で5人に、今月は『図書カード』をプレゼントします。

問 題

12月号で紹介した、虫歯が1本もない子どもたち。みんないい歯、いい笑顔でしたが、何人いましたか?

【ヒント】12月号の広報を見てね。

▶応募方法 ハガキかFAXで、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号と、広報や町のことについての意見・感想等を書いてください。

▶しめ切り(当日消印有効) 1月25日(木)

▶あて先 〒059-1692 厚真町京町120
厚真町役場 広報クイズ係 (FAX 27-2328)

【12月号の答え】 ひまわり

【12月号の正解者】12月号の応募者数は、締め切り前のため確定していません。今月号とあわせて2月号で発表します。

Quiz・クイズ



軽舞小 5・6年のみなさん
 [代表] 桐木 麻有さん (11)
 「初めて版画を作りました。作るのは大変だったけど、うまくできてうれしかったです」

ぼくわたしの作品



富野小 1年
 南 慎朔くん (6)
 「モンスターボール投げをしている自分を紙版画で作ったよ。帽子のところを頑張ったんだ！」

ぼくの・わたしの
 クラスじまん

ともだちっていいな

その66 厚南中学校



紹介してくれたのは…

厚南中学校 1年生のみなさん
 (書いてくれたのは) 三浦 有貴さん

私のクラスは、男子九人、女子十四人の全員で二十三人のとても明るくにぎやかなクラスです。

私のクラスのみんなは、とっても明るく、いろんなことに挑戦する人たちがいっぱいいます。

私たち一年生は十二月七日八日の二日間、ファーム体験に行ってきました。二日目は梅藤牧場で牛の出産も見ました。

このファーム体験で一年生は色々なことを学びました。仕事のつらさなども体験したので、みんなにとってはいい思い出になったと思います。

一年生のみなさん、これからも仲よく楽しい学校生活を送っていきましょう!!

厚高インフォメーション



92



一日体験入学



中学生に学校行事などを説明する兜谷生徒会長

十月十三日、近隣の中学校三年生を対象に一日体験入学を行いました。町内の厚真中と厚南中からあわせて三十六人、町外から十三人、合計四十九人の参加がありました。普段は味わえない高校生活を一足早く体験してもらいました。開校式は学校長のあいさつに始まり、生徒会長からの歓迎のあいさつとビデオによる行事の紹介。続いて、進路や生活指導の先生による話などがあり、参加者に本校の特徴を理解してもらえたように思います。

その後、メインである体験授業を二科目ずつ受講してもらいました。みな緊張しつつもいきいきと受けていました。参加者の感想では「どの授業も楽しく、先生が親切に教えてくれた」、「校舎は小さいけど、とてもきれいな学校だった」また、「行事が多くてとっても楽しそう」といったものが寄せられました。今回の参加者の七割以上が本校に対する印象が良くなったと答えていました。

中三の皆さんにとっては、冬休み明けが進路決定の最終段階。本校は今年も定員四十人の門戸をいっばいに広げ、みなさんの受験をお待ちしています。

今月の記念日

1月19日は「家庭用消火器点検の日」

一般家庭におけるもっとも手軽な初期消火設備「消火器」の役割についてよく知ってもらい、家庭での点検や、火災発生時の使い方などに関する知識を高めてもらうと、社団法人全国消防機器販売協会が制定しました。消防への電話番号が119であることから、その年最初の119の数字が並ぶ一月十九日を記念日としました。一月のほか、春と秋の全国火災予防運動などで、毎年キャンペーンが行われています。

万が一火災が発生した時には、分かりやすい場所に消火器が設置されており、慌てずに正しく使用できることが大切です。そのためには、いざというときに消火器が役立つよう、使用方法をしっかりと覚えておく必要があります。また、消火器には耐用年数があるので、維持管理もしっかり行います。なお、最近、悪質な消火器の訪問点検や高額請求の被害などが発生しているので、

注意が必要です。火災発生時には消火器は非常に効果的な道具となりますが、まずは消火器を使うような事態にならないよう、気をつけることが第一です。平成十三年九月一日未明に発生した新宿歌舞伎町ビル火災では四十四人の尊い命が奪われました。これを契機に、平成十六年に消防法が改正され、火災に対する有効な初期対応として、一般の戸建住宅等にも住宅用火災報知機の設置が義務付けられました。新築及び十平方メートル以上の住宅の増改築では平成十八年六月一日から、既存の住宅等は市町村条例で定める日から適用するとされています。

そのほか、「火の周りに燃えやすい物を置かない」「暖房器具の自動消火装置の作動状況を確認する」「高齢者や身体の不自由な人を守るために、隣近所など日ごろから協力体制をつくっておく」などの対策が欠かせません。

文芸あつまま ◆短歌◆

「おーいおい」しきりに夫の声きこゆ私はお節の味付け最中

(宇隆 加賀谷 明美)

妻が娘にお手玉見せるひとときを二人の孫が見つめてをりぬ

(本町 飛谷 富夫)

朝日差し稜線に浮き雪かずく夕張岳のあかく映え見ゆ

(豊沢 藤本 定昭)

(あつま文芸友の会発行『文芸あつま 第十一号』から抜粋)

ノロウイルスによる 感染性胃腸炎・食中毒を予防しましょう

ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒をどう予防するか？

ノロウイルスは、ウイルスの中でも特に小さく、球形をした「小球形ウイルス」と呼ばれるウイルスの一種です。このウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は一年を通してみられますが、十一月ころから発生件数が増加し始め、十二月〜二月がピークとなる傾向にあり翌年の春まで発生が続くので、冬から春にかけて注意が必要です。

これまで冬季の食中毒の主な原因として知られていましたが、感染性胃腸炎の原因としても注意が必要です。

どのような症状なの？

潜伏期間 感染から発症までの時間)は通常二十四〜四十八時間です。

主な症状は吐き気、嘔吐、下痢、腹痛で、発熱は軽度です。これらの症状が一〜二日続いた後回復し、後遺症もありません。感染して

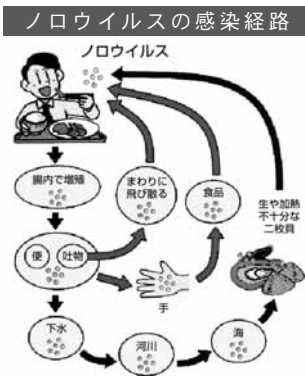
ても発症しない場合や軽い風邪のような症状の場合もあります。

この病気にかかっているかどうかは、臨床症状だけでは特定できないため、患者のふん便や吐物について、電子顕微鏡や遺伝子検査により診断します。

どうやって感染するの？

ノロウイルスの感染力は強く、ほとんどが経口感染(ウイルスが口から入って感染すること)で、次のように感染すると考えられています。

- 調理に従事した人が感染している、その人の手指を介して汚染された食品を食べた場合
- 家庭や共同生活施設などで、人と人が接触する際や、患者のふん便や吐物を処理する際に人の手な



どを介して二次感染した場合

- 汚染された貝類を生や十分に加熱しないで食べた場合

★このウイルスは下痢や嘔吐などの症状がなくなっても通常一週間程度、長いときには一カ月程度ふん便の中にウイルスの排泄が続くことがあるので、症状が改善した後も注意が必要です。

予防方法は？

- 手洗い・うがい
- 調理器具の洗浄・除菌
- 食材の加熱処理
- 健康管理

ノロウイルスは少量で感染します。手についたノロウイルスを衛生手洗いで徹底的に除去し、手を介した二次感染を防ぎます。洗いがいとして予防に努めましょう。

毎日の洗浄・除菌を徹底し、調理器具を介する二次感染を防ぎます。ノロウイルスの不活性には、次亜塩素酸ナトリウムが有効です。水をふき取った後のアルコールスプレーも効果があります。

第2期麻しん・風しん予防接種はお済みですか？

平成18年6月から、小学校就学前1年間にあるお子さんを対象として、第2期麻しん・風しん予防接種が加わりました。

麻しんは、高熱と発しんを伴う重い感染症で特効薬もなく、気管支炎、肺炎、脳炎などの重い合併症が発生したり、死亡することもあります。麻しんは1歳前半の患者が多く、2歳以降の年齢でも予防接種を受けていない幼児や学童がかかっています。

風しんは「三日はしか」とも呼ばれ感染しても軽いと思われています。幼児期に感染すれば軽いことが多いのですが、小学校高学年以上の方が感染すると症状がかなり重くなることもあります。また、感染予防のほかに先天性風しん症候群の予防という大切な目的があります。妊娠初期に風しんに感染すると、目や耳、心臓に障害のある子どもが生まれてくる可能性が高くなります。

感染を防ぐには予防接種が効果的です。忘れずに予防接種を受けましょう。

対象接種日	平成12年4月2日～平成13年4月1日生まれ 平成19年1月29日(月)～2月2日(金) 平成19年2月19日(月)～2月23日(金) 平成19年3月26日(月)～3月30日(金) *木曜日午後は休診です。
場所	あつまクリニック
持ち物	印章、母子手帳
受け付け	接種希望日に保健福祉課で受け付けを済ませてください。受付後診療を持参すると無料で受けられます。

苫小牧夜間休日急病センター(内科・小児科のみ)		
曜日	受付時間	(住所) 苫小牧市旭町2-5-4 (電話番号) 0144-35-0001
月曜日～金曜日	19:00～翌朝7:00	※休日は当番医のほかに、急病センターでも診察を受け付けています。
土曜日	14:00～翌朝7:00	
日曜日	9:00～翌朝7:00	
年末年始(12/31～1/3)	9:00～翌朝7:00	

★「苫小牧市医師会ホームページ」にも休日当番医表を掲載しています。
<http://www.toma-med.or.jp/>
また、携帯電話でも休日当番医のWebサイトにアクセスできます。
携帯電話用 URL <http://www.toma-med.or.jp/phone/>
※携帯電話の種類によっては、うまく表示できない場合がありますのでご了承ください。

保健の掲示板

2月

お父さん参加の「あそびの広場」

お父さんも一緒に楽しみましょう！

とき 4日(日)10:30~12:00

ところ 子育て支援センター

対象 1歳~就学前までのお子さんとお父さん、お母さん。

申し込み 1/31(水)までに子育て支援センターへご連絡ください。

母親教室

とき 5日(月)13:30~15:30

ところ 子育て支援センター

対象 町内にお住まいの妊婦さんとパートナー。

持ち物 母子手帳、筆記用具

申し込み 1日(木)までに保健福祉課健康支援係(保健師)へご連絡ください。

乳幼児健康診査

とき 7日(水)

3~6カ月児 13:30~13:50

9~12カ月児 13:00~13:20

ところ 総合ケアセンターゆくり

対象 生後3~6カ月、9~12カ月までのお子さんと初回のみ(対象者には個別に通知します)

持ち物 母子手帳、バスタオル

児童相談所巡回相談

とき 22日(木)時間は人数が確定次第決定します

ところ 総合ケアセンターゆくり

対象 お子さんの発達や子育てについての悩み・相談がある方ならどなたでも相談できます。

申し込み 1日(木)までに保健福祉課福祉係へご連絡ください。

スタッフ 室蘭児童相談所児童福祉司ほか*秘密は厳守いたします。

子育て講座「バレンタインのお菓子作り」

とき 13日(火)10:00~11:45

ところ 総合ケアセンターゆくり

対象 2歳~就学前まで。

申し込み 1日(木)までに子育て支援センターへご連絡ください。

持ち物 エプロン、手ふきタオル

作るもの チョコレート、カード

子育て講座「お母さんのソフトエアロとストレッチ」

とき 21日(水)10:15~11:15

ところ 子育て支援センター

対象 就学前までのお子さんをお持ちのお母さん。

申し込み 14日(水)までに子育て支援センターへご連絡ください。

持ち物 タオル、水またはお茶

服装 動きやすい服、運動靴

MR混合(麻しん・風しん)予防接種

とき 19日(月)~23日(金)※22日(木)午後は休診です。

ところ あつまクリニック

受け付け 接種希望当日に保健福祉課で受け付けを済ませてください。受付時間は9:00~11:30、14:00~16:00です。

対象 ①生後12カ月~24カ月までのお子さん。

②平成12年4月2日~平成13年4月1日生まれのお子さん(小学校就学前の1年間にあたるお子さん)。

※上記以外の場合は町保健師にご相談ください。

持ち物 母子手帳、印章

三種混合予防接種

とき 13日(火)~16日(金)※15日(木)午後は休診です。

ところ あつまクリニック

受け付け 接種希望当日に保健福祉課で受け付けを済ませてください。

受付時間は9:00~11:30、14:00~16:00です。

対象 1期初回~初めての場合には、生後3カ月から12カ月までが標準的な接種年齢となります。1期初回を1回以上接種して、生後12カ月を超えている場合は48カ月までにできるだけ終了させてください。

・1期追加~1期初回接種(3回)終了後、12カ月から18カ月までに接種してください。

※上記以外の場合は町保健師にご相談ください。

持ち物 母子手帳、印章

二種混合予防接種

とき 27日(火)~28日(水)

ところ あつまクリニック

受け付け 接種希望当日に保健福祉課で受け付けを済ませてください。受付時間は9:00~11:30、14:00~16:00です。

対象 小学6年生で7~8月に未接種の方。二種とはジフテリアと破傷風のワクチンを混合したものです。

持ち物 母子手帳、印章

2月の日曜・祝日当番医

日程	区分	病院名	住所(苫小牧市)	電話番号
4日(日)	内科系	稲岡内科小児科	北光町2-7-10	(0144)72-5141
	外科系	松沢クリニック	明野新町5-13-21	(0144)57-7171
11日(日・祝)	内科系	花輪内科循環器科医院	三光町5-6-15	(0144)36-2555
	外科系	同樹会苫小牧病院	新中野町3-9-10	(0144)36-1221
12日(月・振)	内科系	川村クリニック	有珠の沢町4-20-31	(0144)74-5577
	外科系	苫小牧泌尿器科クリニック	明野新町2-1-12	(0144)57-0455
18日(日)	内科系	いちむら小児科医院	ときわ町5-18-5	(0144)67-1111
	外科系	苫小牧日翔病院	矢代町2-9-13	(0144)72-7000
25日(日)	内科系	苫小牧病院	光洋町3-16-4	(0144)72-1201
	外科系	双葉外科医院	双葉町2-10-17	(0144)32-5470

(診察時間) 9:00~17:00
当番医は変更になることがあります。新聞等で確認するか、当日病院へお問い合わせください。(お知らせ)
『北海道救急医療・広域災害情報システム』を利用して近くの医療機関などが検索できます。
ホームページアドレス
<http://www.qq.pref.hokkaido.jp>
電話 フリーダイヤル 0120-20-8699
携帯電話・PHSからは 011-221-8699

「あったかハートのつどい」を行います

町発達支援センターでは、昨年度に引き続き、「あったかハートのつどい」を開催します。
子どもの発達と心の問題について長年取り組まれている講師による講演を行いますので、皆さんのご来場をお待ちしています。

日時 2月2日(金) 午後5時30分から午後7時まで

場所

総合ケアセンターゆくり2階介護実習室

講師

情緒障害児短期治療施設バウムハウス施設長(伊達市) 宮地 勉さん

テーマ

バウムハウスの子どもたちとの生活から、傷つき、つまづきからの回復を目指して

申し込み先・問い合わせ先

町発達支援センター(役場保健福祉課内)
(☎26-7871内線108)

製造事業者の皆さんへ 統計調査にご協力を

経済産業省では、工業統計調査を平成18年12月31日現在で実施し

ます。

工業統計調査は、製造業を営む事業所を対象として、その実態を明らかにすることを目的として調査します。調査結果は、国や地方公共団体の行政施策の重要な基礎資料として利用されるとともに、企業、大学などでの研究資料や小・中・高等学校の教材など、広く利用されています。

調査の実施に当たっては、12月下旬から1月下旬にかけて調査員が調査票を持って伺いますので、記入についてご協力をお願いします。

なお、記入していただいた内容については、統計法に基づき秘密が厳守されますので、正確なご記入をお願いします。

調査期日

12月31日

問い合わせ先

役場まちづくり推進課統計係
(☎27-2321内線303)

募集

常設・へき地保育所の 園児を募集します

町では、4月から保育所に入園を希望する園児を募集します。

申し込み期間

1月15日(月)～2月16日(金)

申し込み先・問い合わせ先

役場保健福祉課福祉係
(☎26-7871内線109)
《常設保育所》

■募集人数 京町保育園 60人

■提出書類

入園申請書、雇用証明書(以上は役場保健福祉課福祉係と役場上厚真支所にあります)、印鑑、給与所得者は前年の源泉徴収票。

※初めて入園を希望する園児の面接調査は、入園申請後に保育園で行います。

《へき地保育所(さくら、宮の森、みつば)》

■対象児童

原則として満3歳以上

■提出書類

入園申請書(役場保健福祉課福祉係と役場上厚真支所にあります)、印鑑。

■その他

宮の森保育所を申し込みできる方は、郵便番号が059-1700の区域に居住している方になります。



申請

入札参加資格審査申請書の受け付けをします

平成19・20年度に町が発注する建設工事等の入札に参加される方は、次により入札参加資格審査申請書を提出してください。

また、建設業以外の物品等販売

指名を希望する町内業者の方は、入札参加資格審査申請書の提出に必要としません。

▼提出書類

入札参加資格審査申請書および工事または物件の販売等の実績など、指定の添付書類。

■有効期限

平成19・20年度の2年間

■受付期間

2月1日(木)～2月28日(水)
(土、日曜日、祝日を除きます)

■受付窓口・問い合わせ先

役場財政課課財政係
(☎27-2321内線222)

広報

「広報紙」ほっかいどう ご覧になっていただけますか

今年度から、これまでの冊子スタイルからタブロイド判に変更し、発行回数も年6回(奇数月の発行)になりました。

1月号は、主に1月11日から12日にかけて新聞に折り込み、皆さんへお届けします。また、支庁、役場のほか、お近くの郵便局などにも備えています。

なお、これらの方法によって、手に取ることが出来ない方には、

個別の郵送もいたします。

■問い合わせ先

北海道知事政策部知事室広報広聴課広報グループ(☎011-204-5110)

2月の運転免許証更新時講習の日程

苫小牧交通安全センターで行っている運転免許証更新時講習(優良)の日程をお知らせします。

◆午前10時開講：1日(木)、5日(月)、7日(水)、9日(金)、14日(水)、16日(金)、19日(月)、21日(水)、23日(金)、27日(火)

◆午後1時30分開講：2日(金)、15日(木)

◆午後3時30分開講：6日(火)、20日(火)

※このほかの講習日程(一般、違反、初回)については、下記までお問い合わせください。

※優良は5年以上継続して免許のある方で、過去5年間無事故・無違反の方。

■問い合わせ先 (社)苫小牧地区交通安全協会 (☎0144-33-1458)

●新年交礼会のお知らせ●

●日時 1月10日(水) 正午から

●場所 総合福祉センター

●会費 2,500円

(当日、受付で申し受けます)

●問い合わせ先

町商工会

(☎27-2456)



制度

平成21年5月までに裁判員制度が始まります

裁判員制度は、国民から選ばれた裁判員が、刑事裁判に参加する制度です。

6人の裁判員と3人の裁判官は、ともに刑事裁判に立ち会い、被告人が有罪か無罪か、どのような刑にするかを判断します。

国民のみなさんの参加が、裁判にもたらすもの。それは、いろいろな感覚や経験に根ざした新鮮で多様な視点。そして裁判に対するいっそうの信頼。

えと 花火と干支文字の共演！スターフェスタ2007inあつま

町商工会青年部では、スターフェスタ2007inあつま「第8回冬の花火大会・『亥』の干支文字焼き」を開催します。皆様のご来場をお待ちしています。

- 日時 2月3日(土) 午後6時30分開会
- 場所 こぶしの湯あつま
- 内容
 - ・厄払い豆・もちまき
年男、厄年の方に豆・もちをまいていただき、鬼(疾病や災難)退治してもらいます。一般の方には、豆・もち(2000個)ひろいをしていただきます。
 - ・打ち上げ花火
真っ白い雪原を舞台にした、音と光の演出で2000発の花火を打ち上げます。打ち上げ開始は午後7時10分を予定しています。
 - ・干支文字焼き
午後7時の予定で、こぶしの湯から見える雪原に2006年の干支(亥)の文字焼きをします。直線距離270mで、花火と干支文字焼きの共演が楽しめます。
 - ・スノーラフティング
午後2時からの予定で、スノーモービルを動力に雪原の上でスノーラフティングを初めて行います。
 - ・樽酒の提供
大人の方には樽酒を無料提供します。
 - ・雪原に「亥」の炭文字
1月末日の予定です。干支文字の舞台となる雪原に、厚真産木炭を使い「亥」の炭文字を浮かび上げさせます。



■問い合わせ先
町商工会 (☎27-2456)

■問い合わせ先
町商工会 (☎27-2456)

相談

申告相談会場が変まりました

苦小牧税務署では、今年度から苦小牧駅前プラザ e g a o で所得税(譲渡所得税等含む)・消費税(個人事業者)・贈与税の申告相談を行います。

■期間

1月23日(火)～3月15日(木)
(ただし、期間中の土・日曜日、祝日を除きます)

■受付時間

午前9時～午前11時30分、午後1時～午後4時30分

会場

苦小牧駅前プラザ e g a o 6階
(苦小牧市表町6丁目2-1)

※期間中は、苦小牧税務署と苦小牧市民会館内に、申告相談会場は設置しません。

■その他

e g a o 駐車場またはバスターミナル駐車場を2時間まで無料で利用できます。

申告相談会場には、納税窓口がありませんので、最寄りの金融機関で納付してください。

申告書は国税庁ホームページの「確定申告等作成コーナー」でも作成することができます。

作成した申告書の提出は、郵送などで、納税は振替納税をご利用ください。

おわびと訂正

平成18年12月号の広報あつまに掲載しました、お知らせに誤りがありました。おわびして訂正します。
25「年末年始のガイド」
誤 厚南会館
12月30日～1月8日休み
正 厚南会館
12月31日～1月5日休み

■問い合わせ先

苦小牧税務署個人課税第1部門
(☎0144-32-3241)



申告も納税も、e-Taxで。

自宅やオフィス
税理士事務所などから



申告

納税

申請・届出

所得税、法人税
消費税、酒税、印紙税

全税目

インターネット

e-Tax でらくらく送信

e-Tax (国税電子申告・納税システム) を利用するには、事前に開始届出書の提出、電子証明書の取得などが必要です。

e-Tax ホームページ www.e-tax.nta.go.jp

てらさか しゅんせい
寺坂 俊星く ん
H 16・12・30 生
父— 健 司さん
母— 奈 緒さん
(本 郷)



●— わが家のアイドルはこんな子です。—●
「とても活発でじっとしてないですね。ニコッと笑うとパパにそっくりな顔になります。じいちゃんが好きで、じいちゃんやばあちゃん、犬のキュー太のマネをするのが得意です」



■今月の表紙

石川一男社中民謡集団「翼」に所属する三味線奏者の小寺聖夏さん（中央小4年）。平成18年には中国の敦煌やアメリカのニューヨークで演奏活動を行いました。

日本一の三味線奏者目指す！

■今月の内容

年頭のあいさつ	： いきいきふるさと図鑑
平成18年を振り返る	： みんなの広場
こぶしの湯利用促進アンケート結果	： まなびや
平成18年第4回定例議会	： 健康情報・保健の掲示板
まちの話題	： 情報ひろば

2007年 1月

NO. 653

12月15日現在の人口
5,095人(前月比 - 4)
男 2,480人 / 女 2,615人
世帯数 2,017